

令和 5 年 月 日

宇都宮市長
佐藤 栄一 様

宇都宮市緑の基本計画策定懇談会
会長 大森 宣暁

第 3 次宇都宮市緑の基本計画（案）について（提言）

宇都宮市緑の基本計画策定懇談会では、令和 4 年 7 月から 4 回の懇談会を開催し、第 3 次宇都宮市緑の基本計画（案）について検討を行ってきました。検討の過程において各委員から出された意見については、適正に反映され、妥当であると考えています。計画の推進にあたっては、以下の内容を十分に配慮いただきたく、提言いたします。

記

- 1 緑が持つ多様な機能は、市が掲げるスーパースマートシティの実現に向けて、様々な形で貢献することができると思う。緑の機能が的確に発揮されるよう、緑の質を高めていくことに努めていただきたい。
- 2 JR 宇都宮駅周辺の再開発や LRT 整備など、市のまちづくりが大きく変化していく中、市の顔となる中心市街地については、その魅力を緑によって高めていくことに努めていただきたい。
- 3 新たな生活様式が定着する等、社会情勢の変化に伴い、公園やオープンスペースに対するニーズが高まっている中、人々の豊かな生活に貢献する場としての役割を果たせるよう、市民ニーズを捉えた公園づくりを進めていただきたい。
- 4 樹林地・農地について、所有者の高齢化や担い手不足等によって、持続的に保全していくことが難しい状況にある中、緑そのものや緑の活動に対する関心を市内外で高め、緑の取組に関わる人口の増加に努めていただきたい。
- 5 緑の将来像を実現するためには、市民・企業・行政等多くの人々が連携しながら、計画を着実に推進していくことが重要と考える。本計画に定める各指標に基づき、施策が適切に進捗しているか、取組成果が発現しているかを定期的に把握しながら、都度取組の改善に努めていただきたい。

以上